



平成31年度

東落合小だより

多摩市立東落合小学校

校長 鈴木 純一郎

平成 31 年 4 月 8 日

ホームページ <http://schit.net/tama/eshigashiochiai/> 4月号

新しい時代の始まりと東落合小の開校20周年

校長 鈴木 純一郎

寒さが徐々に和らぎ、本校のシンボルでもある桜の花が美しい季節を迎えました。保護者の皆さま、ご家族の皆さま、時代の節目の年に、お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。新入生52名、転入生6名を迎えて、平成31年度の本校の学校生活が始まりました。

希望に満ちた子供たちの期待に応え、充実した学校生活を送れるよう、「**チーム東落合小**」の教職員が一丸となって指導に当たります。学校が地域コミュニティーの中核としての役割を果たすため、全力を尽くします。保護者や地域の皆さまに、お願いすることや助けを求めることが多々あると思いますが、子供たちの笑顔のために、応援よろしくお願いいたします。

間もなく「平成」の時代が幕を閉じて、新元号「**令和**」元年に代わります。東落合小学校は、今年度「**開校20周年**」を迎えました。時代の節目が周年記念の年と重なったので、感動的で心に残る一年間になるよう、教育活動の準備と計画を丁寧に行ってまいります。

東落合小学校では「**心の温かさが感じられる学校づくり**」を学校経営の基本理念としてとらえ、すべての教育活動の基盤として、子供たちの豊かな人間性や社会性を育むための教育実践を展開してまいります。

特に、それぞれの学級担任による「**学級経営**」を重視し、日々の授業が楽しく、子供たちが安心して生活できる居場所となるよう、各学級の集団づくりに全教職員がかかわって、様々な取り組みに力を入れていきます。

各学級が楽しく安心できる集団であれば、学年全体や他の学年の子供どうしの活動においても、良好な人間関係を築く資質、能力が育まれます。多様な考えをもつ相手を受け入れ、「**多様性の理解**」を重視した指導を重ねていきます。

大豆の一粒一粒がそれぞれの個性に応じて生かされ、互いにつながり合い、協働的に困難を乗り越えるような粘りがあり、それぞれのよさを生かし合い味わいのある「**納豆的人間関係づくり**」を全校で実践します。

東落合小学校の学校教育目標は以下の通りです。

- やさしく（心豊かで思いやりや感謝の気持ちをもつ子）
- かしこく（自ら学び、考え、表現する子）
- たくましく（心身共に健康で最後まで頑張る子）

本校の教職員は、保護者や地域の皆さま方と温かな心のつながりをもち、強固な連携によって、子供たちが安心して生活できる学校づくりを進めてまいります。皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。